

# 猿新聞

編集責任者  
山村 準  
tel: 0595-63-1725  
Email  
jyun.y@asint.jp  
名張鳥獣害問題連絡会  
発行部数  
【全戸回覧】  
錦生地区：100部  
赤目地区：150部  
箕曲地区：70部  
ひなち地区：200部  
つつじが丘：440部  
【全戸配布】  
国津地区：380部  
市民センター：90部  
(9地区)  
名張市議会：20部  
名張市役所：20部

**謹賀新年**  
謹んで新春のお慶びを  
申し上げます。  
亥年 一元旦

## 新春に思う 獣害問題

太古より人間と野生鳥獣は同じ地球上の糧を分かちあう生物として、向き合ってきた。だが、軽易なトラブルは日常的に起きていました。人間と野生鳥獣の争いは人間が農耕を始めた頃から起こっています。現在のうちに激化したのは、そう遠い昔の話ではありません。地球に暮らす「生き物」の中で、人間は人間優先の高度な社会を構築し、その中で様々な活動を通じて、野生動物のエリアを私たち人間の都合の良い方に左右してきた経緯があり、その反動が今獣害という形で人間社会に牙をむいているのです。

現在、獣害対策で、真っ先に考えられてしまう対策として「有害駆除」と「柵による防護」があります。しかし、駆除するとう方法には、被害が起きた後の事後策でしかなく、なぜ起きたのかを分析し、おおもとの原因を改善しなにかぎり予算と人力をかけて駆除を続けたいとしても、被害減少には繋がらないと思います。防護策は鳥獣被害防止総合対策交付金事業による交付金で賄われている関係上、会計検査院は防護策の適格性や管理状態などについて検査を行っています。その結果、改善が必要と改善の処置を要求されています。即ち、適合性や管理状態に不備があるという事です。また、防護柵は局部的な対策にとどまり、大局的な見地から見ると「常に短し、たすきに長し」というところがあります。

近年、獣害最前線の中山間地域は、過疎化・高齢化による人間活動の低下により鳥獣被害が深刻な状況になっています。中山間地域の、過疎化・高齢化による人間活動の低下により鳥獣被害が深刻な状況になっています。中山間地域の、過疎化・高齢化による人間活動の低下により鳥獣被害が深刻な状況になっています。

及ぶものから経済的なものまで種々ありますが、生態系への影響が最も心配されています。外来種を完全に駆除して以前の生態環境を取り戻すことはほとんど不可能に近いといわれています。また近年、生態系や農業生産に及ぼす影響が大きいと注目されているものに外来種があります。外来種は、人間の活動により意図する意図しないにかかわらず様々な国から様々な生き物が我が国に持ち込まれ、これらを総称して外来種（国外由来）と呼ばれています。外来種の中で、地域の自然環境に大きな影響を与える種を侵略的外来種と呼んでいます。在来種でも、例えば、本州以南にしか生息していないカブトムシを北海道に放つなど、日本国内のある地域から、もともといなかった地域に持ち込まれた場合には、外来種となり国内由来の外来種と呼んでいます。

外来生物による被害は、生態系の破壊や感染症など人身に危害が及ぶものから経済的なものまで種々ありますが、生態系への影響が最も心配されています。外来種を完全に駆除して以前の生態環境を取り戻すことはほとんど不可能に近いといわれています。また近年、生態系や農業生産に及ぼす影響が大きいと注目されているものに外来種があります。外来種は、人間の活動により意図する意図しないにかかわらず様々な国から様々な生き物が我が国に持ち込まれ、これらを総称して外来種（国外由来）と呼ばれています。外来種の中で、地域の自然環境に大きな影響を与える種を侵略的外来種と呼んでいます。在来種でも、例えば、本州以南にしか生息していないカブトムシを北海道に放つなど、日本国内のある地域から、もともといなかった地域に持ち込まれた場合には、外来種となり国内由来の外来種と呼んでいます。

## 研修会開催

鳥獣害多発に伴い、被害対策が必要不可欠な課題となっております。被害実態の正確な把握、加害獣の生態と行動の解明、集落環境の点検・整備など総合的な対策が必要です。名張鳥獣害問題連絡会では「集落みんなを取り組む獣害対策」と題し、去る平成30年11月27日午後7時～9時、比奈知市民センターをお借りし研修会を開催いたしました。冬場の午後7時という出にくい時間帯にもかかわらず50名余りという多数の参加を頂きました。これは取りも直さず鳥獣害が身近に迫り、深刻化していることを物語っています。現在獣害の起きている地域からの参加もありましたが、これは近頃、メディアによる日本各地の野生動物による人身被害や、農作物被害が連日のように報道されている影響で、獣害を差し迫った身近な問題と感じられている方が増えたからだと考えられます。《概要報告》開会挨拶【ひなち地域ゆめづくり委員会・委員長】佐藤 栄子さん

平成30年11月25日研修会時に、ご協力頂いたアンケートのまとめです。ご協力ありがとうございました。ご協力頂いた方々は23名です。○字は回答数

Q: 被害の程度は	Q: 加害獣は
A: 比奈知⑦酷い～かなり酷い	A: 比奈知⑦鹿・猪・猿・小動物
富貴ヶ丘④少し～ない	富貴ヶ丘④鹿・猪・小動物
滝ノ原③酷い～かなり酷い	滝ノ原③鹿・猪・小動物
百合ヶ丘②ない	百合ヶ丘②いない
美旗②ない	美旗②いない
つつじが丘①かなり酷い	つつじが丘①鹿・猿
奈垣①酷い	奈垣①鹿・猪・猿
国津①酷い	国津①鹿・猪
箕曲①少し	箕曲①鹿
黒田①酷い	黒田①鹿・猪

Q: どんな対策していますか	Q: 地域の獣害対策に参加しますか
A: 比奈知⑦果樹・野菜を食べられないようにしている。草刈・柵・追払・捕獲	A: 全員参加する
富貴ヶ丘④被害が無いので何もしていない	Q: 今回の研修会は役に立ちましたか
滝ノ原③草刈・柵・捕獲	A: 全員役に立った
百合ヶ丘②被害が無いので何もしていない	Q: 今後研修会は必要と思いますか
美旗②被害が無いので何もしていない	A: 全員必要
つつじが丘①果樹・野菜を食べられないようにしている。柵・草刈	
奈垣①柵・追払	
国津①柵	
箕曲①柵	
黒田①果樹・野菜を食べられないようにしている。	

《講演》  
名張A群の動向と対策  
【名張鳥獣害問題連絡会・会員】  
古川 高志さん  
2015年からまとめた貴重な出没状況資料を参加者全員に配布。長年撮り続けたサルの動画を基に有効な対策を解説。



市川昌樹さん

「…獣害は他人ごとではありません…」  
【名張市産業部・部長】  
杉本 一徳さん  
「…名張では獣害は増加傾向にある。名張市全体の問題と受け止め取り組む…」

シカ・イノシシ対策  
【三重県伊賀地域農業改良普及センター・主幹】  
「柵の進化」  
『柵資財の特徴を知る』  
『柵の進化』  
地域差があるのか、名張地方では決して減

少しているとは思われない。獣害のピークは過ぎたというのは、耕作放棄地が拡大し農地面積が減少したためと考えられる。統計的にみると獣害頻度と耕作地面積の増減とは連動している。  
獣害対策の支援対策  
【名張市農林資源室 係長】茶谷 真人さん



名張市に於いては、中山間地域を中心に鳥獣被害は年々拡大している。支援対策の経緯、不要果樹の伐採、毛



